

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



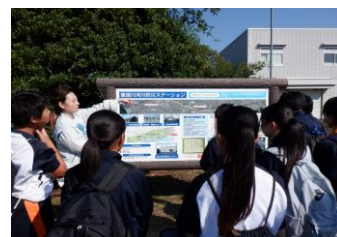
【南第二中学校】

<第1学年：ふるさと学習>（地域めぐり）

生徒が育った地域で、地域を支えるために行われている活動について知り、「未来に向けて自分たちにできることを考える学習」を行った。

生徒は、学習したいテーマに沿ってグループに分かれ、校区内にある史跡や文化財や公的施設、企業などを訪問し、担当の方から話を聞いたり質問をしたりした。校区内の歴史や文化、防災や福祉、経済活動、環境対策についての取組の内容や課題について詳細な知見を得るとともに、地域を支える多くの人々の想いや苦勞に触れることができた。生徒からは「私たちの生活は長い歴史や伝統のもとに多くの人々の活動に支えられていることが分かった」「気候変動や緊急時・災害時に取る具体的な対策を周囲に伝えていきたいと思った」などの感想が聞くことができた。

学習を通して、地域を愛する心を育み今後の行動について考え、未来の地域社会を支える一員として自覚を高めることができた。



<第3学年：福祉体験学習>

「住みよい社会について考える」をテーマに、社会の仕組みや問題点を知り、社会で果たすべき自分の役割を考えた。

日頃から、松山市の住みやすさを感じている生徒は多い。そこで、視覚障害や聴覚障害について理解した上で、生活上の様々な問題点を想像し、自分たちにどのようなサポートができるかを考えた。また、高齢者の生活を疑似体験するため、中予地区老人福祉施設協議会の方々を招き、福祉体験学習を実施した。体験内容は、「介護機器体験」「介護体験」「介護食体験」の三つである。体験後、生徒から、「車椅子を押してもらった側は予想以上に怖かったので、信頼関係が必要だと気付いた。」「母が介護士なので母の仕事が理解できた。私も将来、介護士になりたい。」「とろみを付けた食べ物は高齢者の喉を通りやすく、間違った器官に入らないよう工夫が施していると分かった。」「介護の仕事は与えられたことだけをやるのではなく、相手を思う心が大切だと知った。」等の声が聞かれ、寄り添い、共に生きようとする意識が高まった。

